

● いい映画をこのまちで このまちのひとと <ここ de シネマ>

第2回は、今年話題の長編ドキュメンタリー。いまこそ、この国のかたちを沖縄から見つめたい。

戦争に翻弄されてきた沖縄の近現代史を見つめ、人々の尊厳を伝える

うりずんの雨は 血の雨 涙雨 礎の魂呼び起こす雨

『老人と海』『映画 日本国憲法』
ジャン・ユンカーマン監督作品

沖縄 うりずんの雨



シグロ30周年記念 長編ドキュメンタリー映画

企画・製作：山上徹二郎 製作：前澤哲爾、前澤真理子 撮影：加藤孝信、東谷麗奈 音響：若林大記 音楽：小室 等
製作 配給：シグロ 宣伝：スリーピン

2時間28分/カラー/HD 16:9/ステレオ5.1ch/2015年 シグロ作品 ©2015 Siglo ポスターデザイン：小笠原正勝

戦後70年 沖縄は問いかける

● 字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映 障がいのあるまわりの方をお誘いください。

NPO法人ここずっと●主催

2015年

11月28日 (土)

開場 PM6:30

上映開始 PM7:00

入場料
1000円

会場

相模女子大学
グリーンホール相模大野
多目的ホール

相模原市南区 相模大野 4-4-1
相模大野駅下車 伊勢丹となり

中学生以下・障がいの付添いの方 無料

私たちは沖縄のことを、どれくらい知っているのだろうか？

「老人と海」で与那国島の荒々しくも美しい自然と風土を捉え、「映画日本国憲法」で平和憲法の意義を訴えた、アメリカ人映画監督 ジャン・ユンカーマンが、真の平和を求め、不屈の戦いを続けている沖縄の人々の尊厳を描いた渾身のドキュメンタリー。



沖縄 うりずんの雨

米軍基地を撤廃するための戦いは今後も長く続くでしょう。沖縄の人々はけっしてあきらめません。しかし、沖縄を「戦利品」としての運命から解放する責任を負っているのは、沖縄の人々ではありません。アメリカの市民、そして日本の市民です。その責任をどう負っていくのか、問われているのは私たちなのです。

(ジャン・ユンカーマン監督)



「うりずん」は、潤い初め(うるおいぞめ)が語源とされ、冬が終わって大地が潤い、草木が芽吹く3月頃から、沖縄が梅雨に入る5月くらいまでの時期を指す言葉。沖縄地上戦がうりずんの季節に重なり、戦後70年たった現在も、この時期になると戦争の記憶が甦り、体調を崩す人たちがいる。



ここ de シネマ 第1回>アンケート このまちの声から

第1回『ある精肉店のはなし』上映会にお見えになられた方に「沖縄についてどう思っているか」と投げかけてみました。

イメージ

- ・あつい、海がきれい。米軍基地がたくさんある。ゴーヤがおいしい。治安が悪い。戦争・さとうきび畑のうた・修学旅行・バイナッブル・こま犬・フラガール・ヤンバルクイナ・ハブ酒・ジンベエガメ・イリオモテヤマネコ・豚足・海ぶどう (中央区・20代)
- ・基地の街、戦地になった場所、リゾート地。複雑な気持ち。行ったことないです。(中央区・40代)
- ・日本有数のリゾート地で自然の宝庫でありながら、かこくな歴史を持った場所と思います。(中央区・40代)
- ・すばらしい文化と人柄をもった人々と王国がもとにあって、日本のために唯一民間人もまざった戦争にまきこまれてしまって申し訳ないくらいです。(南区・50代)

行きたい

- ・行ってみたいです。学校の社会でやりました。(緑区・10代)
- ・今、応援すべき大切な場所の一つだと思います。(中央区・30代)
- ・基地問題が気になります。きれいな海を見てみたいです。(緑区・40代)

基地・歴史

- ・年代によって感じるものが違ってきます。きれいな海、けしきと旅行でしかなかったことからやはり、戦争問題に関心を持ち始めました。(南区・60代)
- ・基地賛成論者の意見も知りたい。(中央区・50代)
- ・沖縄の歴史、日本の歴史、ちゃんとは分かってないけど、日本から基地をなくしたいと思っています。(中央区・30代)
- ・3年前、沖縄に旅行しました。沖縄は、観光が盛んですが、基地もありとてもいびつに見えました。(南区・20代)
- ・自国のため基地をつくり、必要かと思う。でも、自分の住んでいるところに作られるのはいやですね。その方々の気持ちになったらどうしたらいいのかわかりません。答えが出ない。(南区・60代)

知りたい

- ・きつと、ほとんど知らないと思います。(市外・50代)
- ・知っているようで知らない。考えなくてはならないのに考えてない。けれども、大切なことがある。(中央区・50代)
- ・国の中心に近いところの情報と、沖縄とのギャップが大きいことが気になります。情報を共有、標準化していくにはどうしたらいいか、何かできることはないかいつも思います。(市外・40代)

わたしたちのまちで いっしょに
映画を観て、語り合う
それが、このまちの優しさを
つくりだしてくれる—
コミュニティ・シアター<ここ de シネマ>

だれとでも
楽しめる
バリアフリー上映で

イヤホン付きFMラジオをお持ちください。
ラジオの貸出しもいたします。
(先着20台まで)

お問合せとチケット購入はこちらへ

主催

NPO法人ここずっと

〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号

TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447

メール info@cocozutto.jp

※ボランティア参加者も募集しています。

次回<ここ de シネマ>

2016年2月13日(土) PM7:00 上映開始

※コミュニティ・シアター開催事業は、さがみはら市民協働ファンド・ゆめの芽の助成を受けています。